広島空港 i スクエア通信

第２号（平成 29 年６月 22 日）
（発行：広島県空港振興課）

（目次）

■　コラム（スキーム色々） 1
■　広島空港の利用状況（平成 29 年 4～5 月） 2
■　トピック 7
・平成 30 年度施策に関する提案について 7
・広島～シンガポール線の就航について 7
・広島空港ビルディング(株)の中期経営計画について 8
・山陰・瀬戸内・四国エクスプレスウェイパス 8
■　お知らせ 9

■ コラム（スキーム色々）

空港経営改革は平成 25 年の「民活空港運営法」の成立により，具体的な仕組みが整えられました。関西国際空港のように法律で定められた会社により運営されている空港を除いて，日本の空港の経営改革は同法を根拠として行われています。

空港経営改革は，滑走路等の基本施設，ターミナルビル，駐車場を一体的に民間が運営するものですが，完全民営化ではなく，国等の空港の設置管理者が所有権を留保したまま，「運営権」を設定することにより民間が空港運営を行う仕組みとなっています。（ただし，現状で既に三セク等が運営しているターミナルビルは運営権者に完全移管）

また，運営事業者は公募で選定されるため，実際に導入する際には，国や地方自治体などの設置管理者が，「事業期間」や「設置管理者との役割分担」，「応募者の参加資格要件」等の実施スキームを個々に策定したうえで事業者の募集が行われます。

実施スキームは，地方自治体の管理する地方管理空港は勿論ですが，国管理空港においても，一律の内容にはなっているわけではありません。

各空港で，利用者数や将来の施設更新コスト等の条件も異なり，関係自治体の考え方や事業目的も様々ですので，それぞれの地域・空港の実情を踏まえた実施スキームが策定されています。（下表参照）

広島空港においても，空港経営改革を推進するための地元自治体としての考え方を「広島空港の経営改革に係る県の基本方針」（平成 29 年 3 月策定）として整理し，周辺施設を含む空港活性化や，地域の関係者と運営権者の連携の枠組みの確保など，広島型の空港経営改革の実現に向けた提案を国に対して行っているところです。

各空港のスキーム（特徴的なもの）

	関空・伊丹	仙台	高松	神戸	福岡	静岡
開始時期（予定含む）	平成28年4月	平成28年7月	平成30年4月	平成31年4月	平成31年4月	平成31年4月
事業期間	44年 延長なし	30年 延長オプション30年 +合意延長5年	15年 延長オプション35年 +合意延長5年	41年 +合意延長10年	30年 +合意延長5年	20年 オプション延長20年 +合意延長5年
エアライン出資	部分規制 ・子会社・関連会社とすることは不可	部分規制 ・子会社・関連会社とすることは不可	全面規制 ・出資不可	部分規制 ・子会社・関連会社とすることは不可	部分規制 ・子会社・関連会社とすることは不可 ・エアラインが合計で1/3超の出資不可 ・エアラインが1/3超の議決権を有する会社が1/3超の出資不可	部分規制 ・子会社・関連会社とすることは不可
少数株主枠	あり 第一次審査通過後，第二次審査までに過半数未満の範囲内で株主追加可能	なし	なし	なし	あり 優先交渉権者決定後，10%以内で株主追加可能	現株主が発行済株式総数の20%を継続保有
空ビル会社のコンペへの参加	なし	なし	なし	なし	自治体との出資関係を事前に解消し，利益相反措置を講じる前提で持株会社の参加可	なし（ただし上記のとおり現株主は20%の株式を継続保有）
自治体関与	なし	なし	あり 出資10%以内 非常勤取締役1名，常勤職員1名の派遣	なし	あり 出資10%以内 非常勤取締役1名の派遣	更新投資費用の一部を県が負担

※各空港の実施方針等をもとに作成

■ 広島空港の利用状況（平成 29 年 4～5 月）

○ 航空旅客

国内線は，東京線をはじめとして各路線とも好調に推移しており，全体では前年度比 109.6%となっています。

一方で，国際線は，ソウル線や大連線が回復傾向にあるものの，昨年 10 月の台湾線・香港線の減便の影響等から，全体では前年度比 99.5%となりました。

全体としては，対前年比 108.3%となり，4～5 月の 2 か月間の実績としては，平成 21 年度以降で最多となっています。

（単位：人，%）

	路線		区分	平成29年度（29年4～5月）	平成28年度（28年4～5月）	対前年度比	備考
国内線	東京		搭乗者数	331,553	298,568	111.0	
			搭乗率	71.2	66.7		
	成田		搭乗者数	34,961	34,957	100.0	H26.8.1～ 2便増便
			搭乗率	66.7	68.6		
	札幌		搭乗者数	24,262	21,994	110.3	
			搭乗率	64.9	65.3		
	仙台		搭乗者数	12,862	11,381	113.0	
			搭乗率	84.3	80.8		
	沖縄		搭乗者数	25,037	24,361	102.8	
			搭乗率	70.8	74.0		
	その他国内		搭乗者数	834	768	―	
			搭乗率	83.4	72.2		
	国内線合計		搭乗者数	429,509	392,029	109.6	
			搭乗率	71.0	67.6		
国際線	ソウル		搭乗者数	8,882	8,183	108.5	
			搭乗率	52.0	54.6		
	中国路線	大連・北京	搭乗者数	6,540	5,707	114.6	H28.10.30～ 1便減便
			搭乗率	48.3	46.8		H29.3.26～ 1便増便
		大連・天津	搭乗者数	0	0	―	H24.10.28～ 運休
			搭乗率	―	―		
		上海・成都	搭乗者数	10,392	10,473	99.2	
			搭乗率	68.2	68.3		
		（小計）	*搭乗者数*	*16,932*	*16,180*	*104.6*	
			搭乗率	*58.8*	*58.8*		
	台北		搭乗者数	16,558	17,941	92.3	H27.1.1～ 2便増便
			搭乗率	82.6	71.0		H28.10.30～ 2便減便
	香港		搭乗者数	8,236	10,879	75.7	H27.10.27～ 2便増便 H28.1.28～ 1便増便
			搭乗率	89.6	74.1		H28.10.30～ 2便減便
	グアム		搭乗者数	0	0	―	H26.4.1～H26.7.19 期間運休
			搭乗率	―	―		H26.12.19～ 運休
	合計		搭乗者数	50,608	53,183	95.2	
			搭乗率	48.7	64.6		
	その他海外		便数(片便)	8	2	―	
			搭乗者数	2,878	568		
			搭乗率	90.9	91.6		
	国際線合計		搭乗者数	53,486	53,751	99.5	
			搭乗率	50.0	70.0		
旅客合計			搭乗者数	482,995	445,780	108.3	
			増加人数	37,215			

○　航空貨物

（単位：kg，％）

	路　　線			平成29年度 29年4～5月	平成28年度 28年4～5月	対前年比	備　考
国内線	東　京			2,365,816	2,213,274	106.9％	
	成　田			0	0	－	
	札　幌			111,569	98,729	113.0％	
	仙　台			0	0	－	
	沖　縄			314,095	288,220	109.0％	
	国内線合計			2,791,480	2,600,223	107.4％	
国際線	定期便	輸出	ソウル	0	1,334	0.0％	
			大連･北京	7,540	1,059	712.3％	
			大連･天津	0	0	－	
			上海･成都	1,698	1,367	124.2％	
			台北	18,579	21,803	85.2％	
			グアム	0	0	－	
			計	27,817	25,562	108.8％	
		輸入	ソウル	0	4,888	0.0％	
			大連･北京	3,614	1,917	188.5％	
			大連･天津	0	0	－	
			上海･成都	25,993	6,462	402.2％	
			台北	5,308	8,200	64.7％	
			グアム	0	0	－	
			計	34,915	21,467	162.6％	
		ソウル		0	6,222	0.0％	
		大連･北京		11,154	2,976	374.9％	
		大連･天津		0	0	－	
		上海･成都		27,691	7,829	353.7％	
		台北		23,887	30,003	79.6％	
		グアム		0	0	－	
		合計		62,732	47,029	133.4％	
	チャーター便	輸出		0	0	－	
		輸入		0	0	－	
	［輸出］			27,817	25,562	108.8％	
	［輸入］			34,915	21,467	162.6％	
	国際計			62,732	47,029	133.4％	
合計				2,854,212	2,647,252	107.8%	

○　リムジンバス等

（単位：人/%）

路　線	区　分	平成29年度 29年4月～5月	平成28年度 28年4月～5月	対前年比
広　島	乗 客 数 （うち平和大通り）	180,742 2,381	160,280 1,746	112.8 136.4
	1便平均	19.0	17.0	
	1便平均（平和大通り）	5.0	3.6	
福　山	乗 客 数	12,982	12,523	103.7
	1便平均	8.9	8.6	
三　原	乗 客 数	6,759	6,274	107.7
	1便平均	5.5	5.1	
呉	乗 客 数	11,436	10,448	109.5
	1便平均	10.4	9.5	
白市駅	乗 客 数	22,040	21,734	101.4
	1便平均	6.9	6.8	
竹原港	乗 客 数	1,886	1,900	99.3
	1便平均	2.0	2.0	
尾　道	乗 客 数	1,335	718	185.9
	1便平均	4.7	2.6	
三　次	乗 客 数	710		－
	1便平均	1.9		
合　計	乗 客 数	237,890	213,877	111.2
	増加人数	24,013		

航 空 旅 客 数	482,951	445,780	108.3 （速報値比較）
増　加　人　数	37,171	－	
バス利用者割合	49.3	48.0	

○　駐車場

〔単位：台，％，日〕

駐車場名	区分	平成29年度 29年4月～5月	平成28年度 28年4月～5月	対前年同期比
空港駐車場	入庫台数	47,961	45,398	105.6
	１日平均	786	744	
1,149台	泊車台数	36,136	33,004	109.5
	１日平均	592	541	
	満車日数	5	3	2
県営第１駐車場	入庫台数	13,683	12,553	109.0
	１日平均	224	206	
593台	泊車台数	10,656	9,337	114.1
	１日平均	175	153	
	満車日数	0	0	0
県営第２駐車場	入庫台数	25,383	23,540	107.8
	１日平均	416	386	
645台	泊車台数	7,862	7,128	110.3
	１日平均	129	117	
	満車日数	0	0	0
県営駐車場　計	入庫台数	39,066	36,093	108.2
	１日平均	640	592	
1,238台	泊車台数	18,518	16,465	112.5
	１日平均	304	270	
	満車日数	0	0	0
正広駐車場	入庫台数	9,294	9,120	101.9
	１日平均	152	150	
1,426台	泊車台数	40,956	33,697	121.5
	１日平均	671	552	
	満車日数	0	0	0
合計	入庫台数	96,321	90,611	106.3
	１日平均	1,579	1,485	
3,813台	泊車台数	95,610	83,166	115.0
	１日平均	1,567	1,363	

注：満車日は，概ね１時間以上満車となった日を集計している。

注：正広駐車場の収容台数は，平成16年12月20日まで1172台，平成18年9月21日までは1312台。

○　広島空港ホームページセッション数（Ｈ29.4.1～Ｈ29.5.31）

国別セッション

国	セッション	セッション率
日本	533,465	95.62%
香港	7,023	1.26%
台湾	3,243	0.58%
韓国	3,105	0.56%
アメリカ	2,384	0.43%
中国	1,889	0.34%
シンガポール	729	0.13%
オーストラリア	552	0.10%
タイ	486	0.09%
不明	1,249	0.22%
その他	3,776	0.68%
計	557,901	100.00%

市区町村別セッション

市区町村	セッション	セッション率
大阪	127,339	22.82%
広島	88,003	15.77%
新宿区	41,974	7.52%
港区	37,182	6.66%
横浜	31,875	5.71%
名古屋	13,353	2.39%
福山	13,328	2.39%
千代田区	11,243	2.02%
中央区	11,026	1.98%
渋谷区	9,490	1.70%
その他	173,088	31.02%
計	557,901	100.00%

デバイスカテゴリ別

デバイスカテゴリ	セッション	新規セッション率
モバイル	321,082	43.49%
デスクトップ	203,655	51.26%
タブレット	33,164	49.38%

（出典）google アナリティクスのデータから県が作成

■　トピック

・平成 30 年度施策に関する提案について

広島県では，県の施策を推進するに当たり，本県独自又は喫緊の課題を踏まえ，国との連携・協力が必要な事項について，各省庁の平成 30 年度概算要求や施策に反映させるよう，提案を行っています。

本提案において，平成 29 年 3 月策定の「広島空港の経営改革に係る県の基本方針」に基づき，平成 33 年の経営改革導入を念頭に，「空港経営改革の実施スキームへの反映事項」や「空港機能の強化に関する提案」，「空港への高いアクセシビリティ実現のための道路ネットワークの整備促進等」について提案を行っているところです。

（参考）　http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/230/h30sakuteian.html
（平成 30 年度施策に関する提案（平成 29 年 5 月））
http://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/244906.pdf
（空港活性化に向けた経営改革の推進等）
http://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/244904.pdf
（道路ネットワークの整備促進等）

・広島～シンガポール線の就航について

シンガポール航空の子会社であるシルクエアーにより，平成 29 年 10 月 30 日から広島～シンガポール間の直行定期路線が就航される予定です。

広島空港にとっては，8年ぶりの東南アジア路線，14年半ぶりのシンガポール線となります。なお，同社は，今回の就航が日本初の定期路線となります。

（運航スケジュール）

便名	区間	運航日	出発時刻	到着時刻
MI867	広島→シンガポール	月・木・土	10:25	15:40
MI868	シンガポール→広島	月・木・土	1:45	9:30

※認可手続き中であり現時点の予定スケジュール
※時刻は全て現地時間

（参考）　広島空港ＨＰ
http://www.hij.airport.jp/news/20171030_mi.html

・広島空港ビルディング(株)の中期経営計画について

広島空港ビルディング(株)が，空港利用者 410 万人超（航空旅客 351 万人，一般利用者 59 万人）を目標とする中期経営計画（平成 29 年度～平成 33 年度）を公表しました。

前計画では，空港利用者 350 万人（航空旅客 300 万人，一般利用者 50 万人）の目標が掲げられ，実績では計画比 94%にとどまったものの，5 年間で 121%増を実現した他，健全経営を確保し，子会社のエアポートホテルの債務超過を解消するなど，『成長のための「基盤づくり」』が着実に進められてきました。

新中期経営計画では，経営改革導入までを含む今後 5 年間を『成長のための「戦略の実行」』ステージとして，「利用者拡大に全力を傾注」するとともに，大屋根改修などのターミナルビルの基本機能の維持等に加えて，搭乗待合室の拡張等の戦略施策の実行など，「健全経営を維持しつつ中核空港としての基盤投資を着実に実行」する方針が示されています。

また，前計画のもと，取締役会の改革や月次決算の導入など，ガバナンスの強化が進められてきましたが，一体運営時代の空港経営を担うに相応しい企業体質及びマネジメント体制の強化を図るため，これまでの取組を更に推し進め，質的なレベルアップを図っていく方針が示されています。

≪新中期経営計画の主要経営目標≫

区　分	2016 実績	2021 計画	差異	比率
空港利用者	3,286	4,104	818	125%
航空旅客	2,885	3,514	629	122%
一般利用者	401	590	189	147%
売上高(連結)	3,345	4,148	803	124%
営業利益	437	504	67	115%
当期純利益	277	304	27	110%
営業利益率	13.1%	12.1%	△1.0P	－
EBITDA	1,035	1,242	207	120%
CS 評価(空ビル)	3.48 P	3.80 P	0.32 P	－

（参考）　広島空港ビルディング(株)ＨＰ

http://www.hiroshima-airport.com/business.html

http://www.hiroshima-airport.com/info/tyuukizigyoukeikaku29.pdf （中期経営計画）

http://www.hiroshima-airport.com/info/zigyouhoukoku56.pdf （事業報告書）

・山陰・瀬戸内・四国エクスプレスウェイパス

平成 29 年 3 月 25 日から，NEXCO 西日本により，訪日外国人を対象とした周遊型の高速道路割引企画「山陰・瀬戸内・四国エクスプレスウェイパス（San'in-Setouchi-Shikoku Expressway Pass）」が販売されています。

全国的にもインバウンド客によるレンタカー利用は増加していると言われており，広島空港でも，徐々にではありますが，同様のニーズが顕在化しつつあります。（特に，香港からの旅客による利用が多いようです。）

こうしたサービスの拡大を通じて，広島空港を起点とした中四国の周遊観光の拡大等につながることが期待されるところです。（広島空港内のレンタカー店舗でも販売）

（参考）　NEXCO 西日本ＨＰ

http://corp.w-nexco.co.jp/corporate/release/hq/h29/0222a/

■　お知らせ

第３号の配信は７月中旬頃を予定しています。